

特集

病院のリソースを
地域で活用する

質の高い在宅療養支援に向けた同行訪問の取り組み

2012年度診療報酬改定により、病院の専門性の高い看護師（褥瘡・がん）と在宅側看護師の同行訪問に対して、「在宅患者訪問指導管理料」加算が新設された。医療機能の細分化がより進展していく中で、限られた医療資源を地域で最大限に活用するためにはさまざまな工夫が欠かせない。本特集では、地域包括ケア体制実現への本格的取り組みが求められている現在、病院の人的資源を地域で活用し、地域の看護の質を向上させ、ひいては患者の療養の質を向上させるための考え方や、先進的な好事例を実践報告として紹介する。

自施設からはじめる地域との連携◎齋藤訓子
地域における自施設の役割を再考する◎平野一美
地域の看護力向上に向けた基本的考え方◎中村奈央
在宅医療を支える医療機関が果たす新たな役割◎小坂智恵子
終末期のがん患者に対する地域在宅スタッフとのチーム医療◎森佳子
摂食・嚥下障害看護認定看護師の
施設・在宅訪問◎久米淳子／岸岡陽子
看看連携を基盤とした包括的な退院支援と
同行訪問◎井上栄子／安部淳子

巻頭

うちの看護師長会・主任会◎ 庄原赤十字病院

特別記事

チーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループの議論を終えて◎有賀徹
愛知県看護協会・認定看護師による「専門看護相談」の取り組み◎山羽能史子ほか
大学が主催する新人看護職員「社会化」支援◎田中広美ほか
米国におけるシミュレーション看護教育の実践◎Pamela R.Jeffries

編集後記

▶症例をなぞりながらケアのプロセスを評価する、という病院機能評価の新しいコンセプト。これは患者さんが、入院から日常の生活に戻っていく回復過程を時間軸で捉え、できるだけソフトラディングができるような退院支援に熱心に取り組んでいる看護部にとっては、ケアの過程を第三者の視点で評価してもらえとてもよい機会になるのではないのでしょうか。武村さんの原稿にあった、サーベイヤーは病院を離れた後も受審病院の質改善を支援する立場で物事を考えていた、という部分には胸を打たれました。▶来月号の特集では、退院前後の患者さんへの病院側認定看護師と訪問看護師の協働のプロセスとその効果について取り上げます。ご期待ください！（小齋）	▶本号の特集の中では「評価では日常の実態がチェックされるので、付け焼刃では対処できない」ということが一貫して述べられており、日頃の努力、継続的な質改善こそが本当の質向上につながるのだと再認識しました。▶先週末、香川県の直島に行き、帰りに金刀比羅宮に寄りました。芸術の島・直島で作品に心洗われ、金刀比羅宮で奥社までの1368段の石段を昇り、「今、最高に清い心になってる!」と浮かれていると、帰りの電車で眼鏡を忘れてきてしまいました。「お主も付け焼刃でない『継続的な質改善』をしろ」という、金刀比羅宮からのメッセージだったのかもしれない。▶直島の「I♥湯」というアート銭湯がこれからの季節お勧めです。四国周辺の方、ご旅行などで行かれる方はぜひ、ゆっくりとお湯につかりながらアートを楽しみ、日頃の疲れを癒してください。（笹山）
---	--

看護管理 第24巻第2号

2014年2月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2014, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2014年年間購読料

冊子版 18000円

冊子＋電子版／個人 21000円

冊子＋電子版／共有 23700円

電子版／個人 18000円

電子版／共有 20700円

（いずれも税込、送料弊社負担）

*上記は2014年3月までにご注文いただいた場合の年間購読料です（2014年3月ご購読開始分まで適用）。

『看護管理』編集室（担当：小齋、笹山、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

【年間購読のお申し込み先】

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、（株）医学書院が保有します。

【JCOPY】（（社）出版者著作権管理機構委託出版物）本誌を無断で複製する行為（複製、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。複製される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記載された [0917-1355/14/¥250/論文/JCOPY] は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

facebook始めました!

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね!」をよろしく願っています。

http://www.facebook.com/kangokanri1991

●twitter アカウントは、@kangokanri です。あわせてフォローをお願いいたします。